


雌
堕
ち
し
た

勇
者
サ
マ


ぽんぽんダンジョン





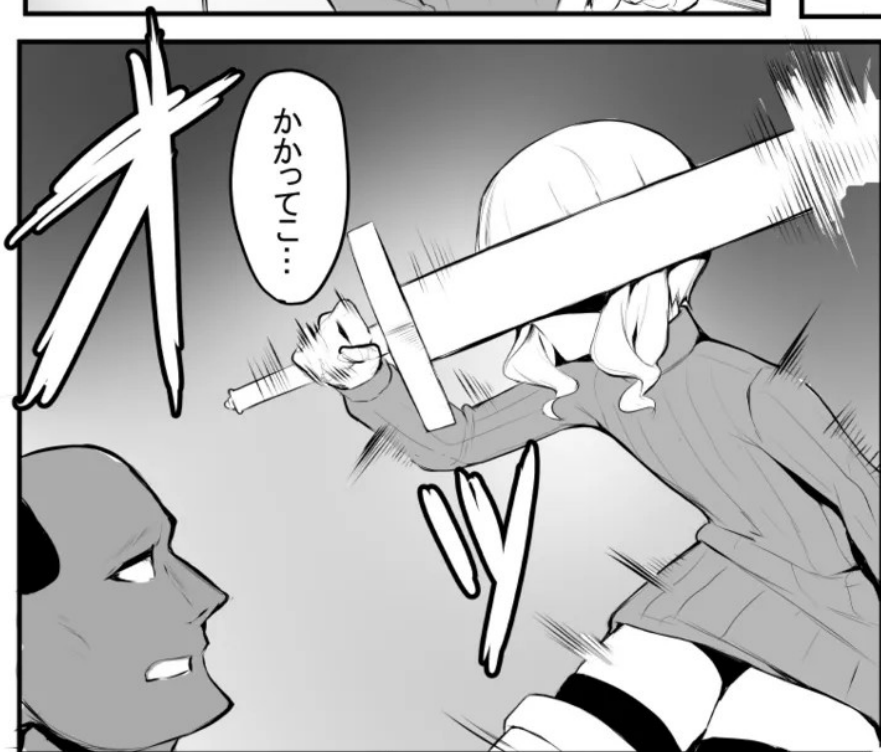
勇敢なる者
勇氣ある者

すなわち勇者が！
姫を助けるべく
ついに魔王城へと
たどり着いた！



勇者サマ！

グフフ
よくぞ来た勇者よ







そんな
どっぴて



だつてえ♡



魔王様の力で
魔族化したの♡

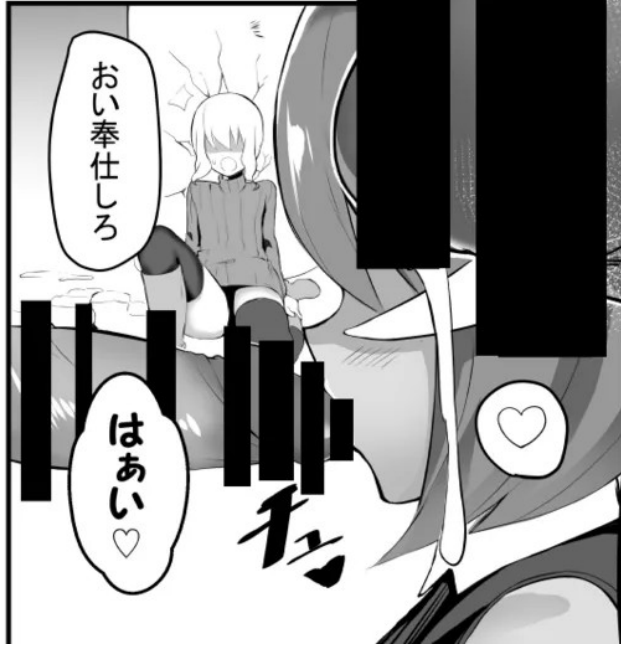
エレナ姫
その姿は！



な！



魔王様のオチンポ
とつても
気持ちいいんだもの♡



おい奉仕しろ

はい♡

ち



いいぞ
媚び方を
完全に覚えたな



そっだ
そのまま続ける



聖国の王女が

『大陸に咲く白百合』
とまで謳われた
姫君が…



う嘘だ…!



わ、割れ目が！

あら、不完全



玉が無くなって！

下着が女物に
なっていると
思ったら…！

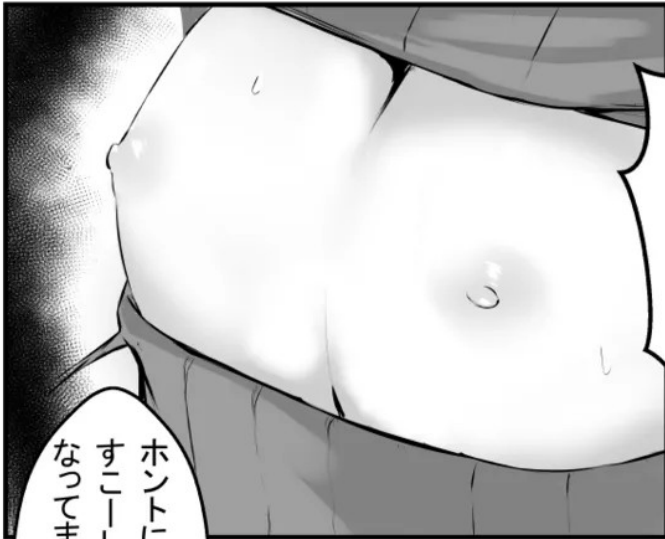


さすが勇者サマ
お強い加護♪



あ！

だが！
それでも十分よ！



む、胸までもが！

な！

ホントに
すこーしだけ女性に
なってますねえ



これが魔王様のお力
雄を雌へと変える秘術

勇者様に魔族の素晴らしさを
教えて上げようかと

そ、そんなバカな…

こんな事をして
何が目的だ！

トロキ
ニト



身体が動きにくい……!

ビリ

大丈夫すぐに
楽しめるようになります
私みたいに

あ、麻痺効果付いてますから
逃げようとしても無駄ですよ



できあがった
具合を確かめようか

よし、では

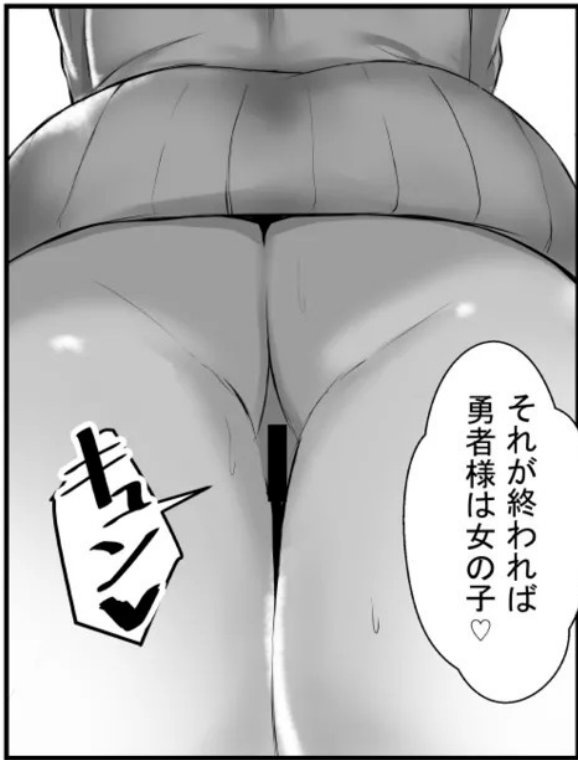
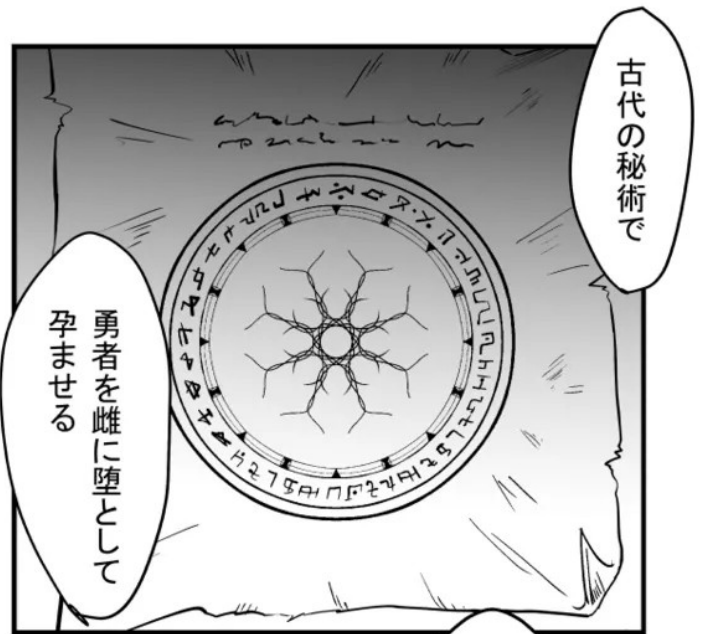
な、何をす……!

カッ

ム

ニ

ッ





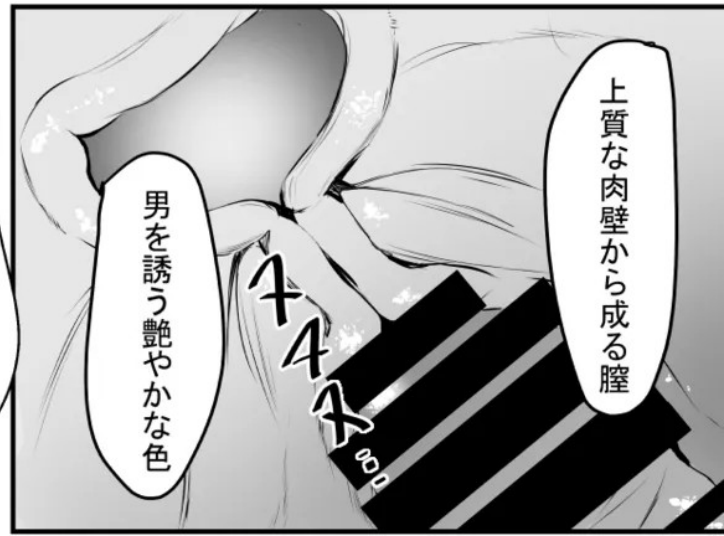
素晴らしい
極上の蜜壺に
仕上がっている

おお…



これは堪ら
うっ

元から雌であったのなら
幾人の男をくわえ込んだであろう



男を誘う艶やかな色

上質な肉壁から成る腔





執拗な責め
が始まった



それから



見る勇者
お前の雌汁に
まみれた肉棒を

ビュッ
ルルル
ルルル
♡

出るぞ

グッ

まだ少し出ますね
もう少しで完全に
雌になりますからね

それまでの
我慢ですからね
勇者さま

髪も伸びてきたな
鏡でも見るか？
人間の雌にしか見えんぞ？

グッ
グッ
グッ

ほう、似合うではないか
ええ勇者よ

すぐにその衣装に似合った
淑やかさを仕込んでやる

おら、なに気絶している！
イって目覚めてまたイけ！

まずいか？
じきに「これの味で
股を濡らすようになる

その時は自分から
舌を這わせて腰を振るんだ
楽しみにしておけ





オラッ!
喉で受け止める雌勇者アア!

言い訳をするな!

なんだこぼしやがって……
これは調教が必要なな……

こ、こんな量
無理に決まって……

ゴゴゴ

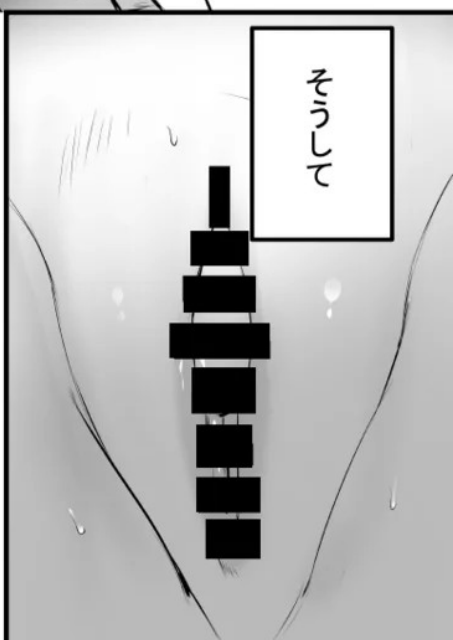
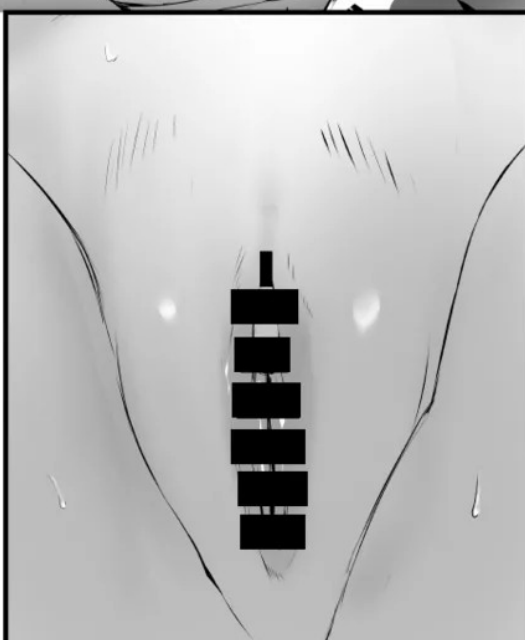
精液悦んでガブ飲みするまで
徹底的にやるからな!

覚悟しろ!!



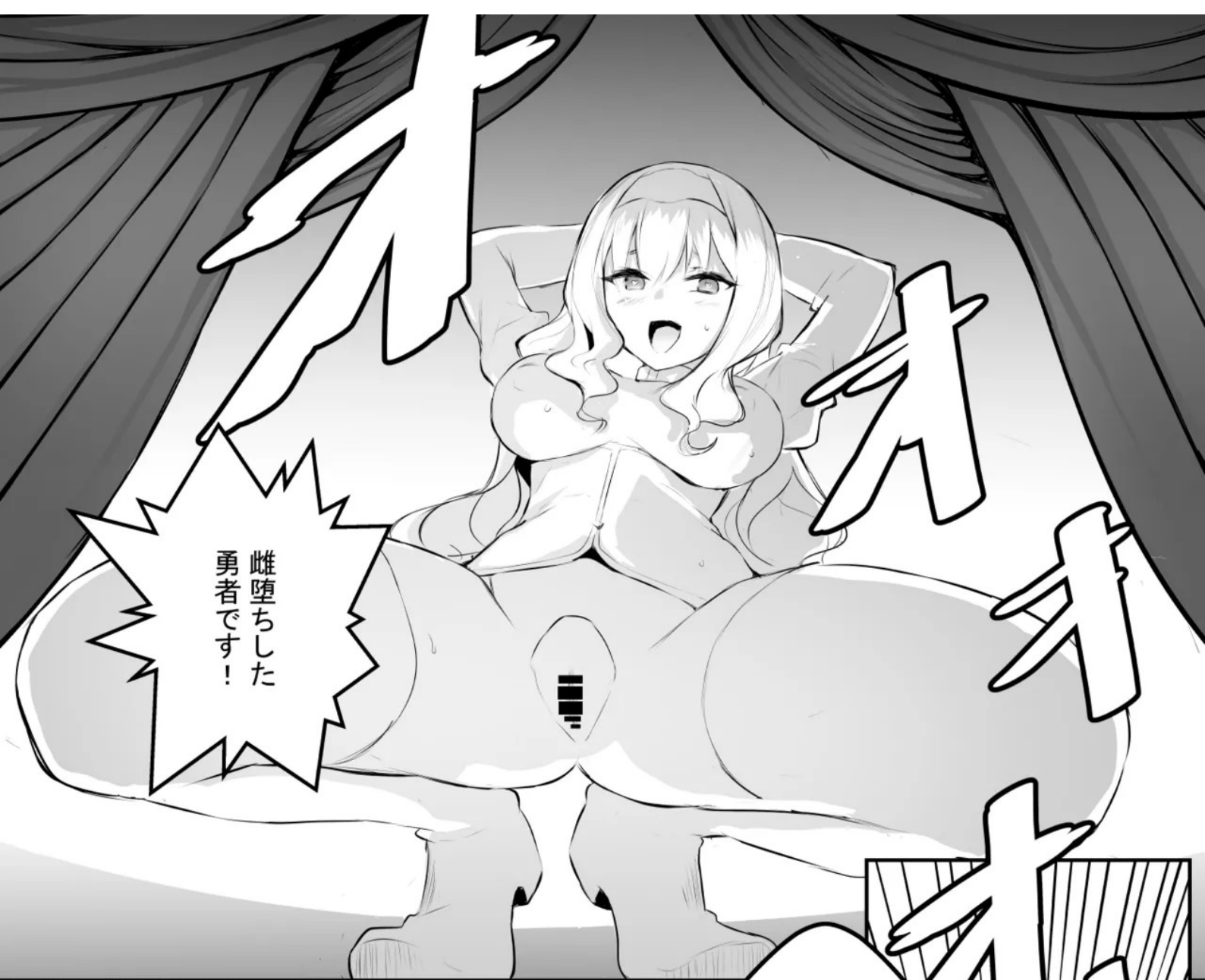
さらに
月日は流れ——

ピチッ



そうして





雌墮ちした
勇者です！



見ろ、あの発情しきった顔をよお

しかし、勇者は
男のはずでは？





完全に雌になつてんなあオイ!

『キャ♡』だつてよー!



キャ♡

グ



いくぞお
いくぞお...!

勇者の雌マンロコ
魔族チンコを
ねじ込むぞ!

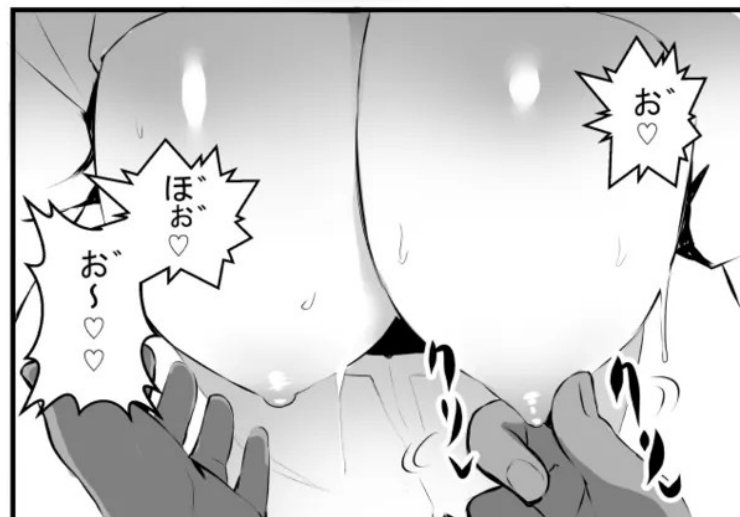


くう、いいぞおお

手慣れた龟头責めえ

ゴッ

ゴッ



お♡

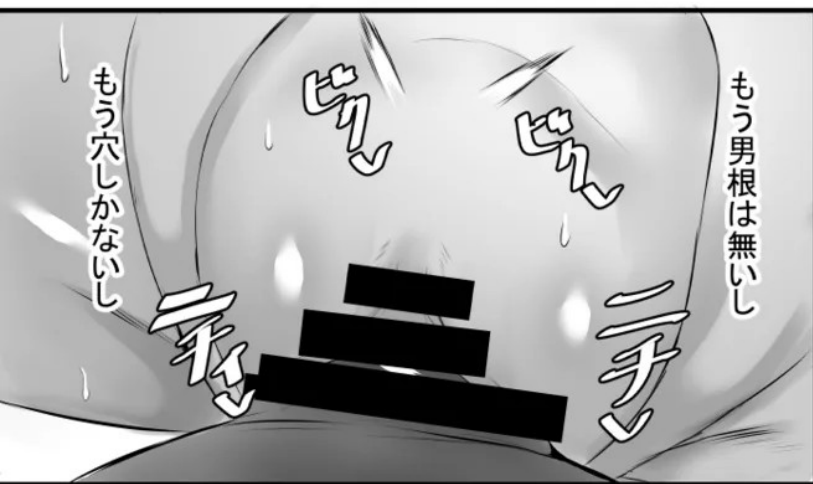
ほ♡

お♡♡♡



おはね、もっ...

かき
かき



もう男根は無いし

もう穴しかないし

ピク
ニチ
ニチ
ニチ



キュ

キュ

ズバ



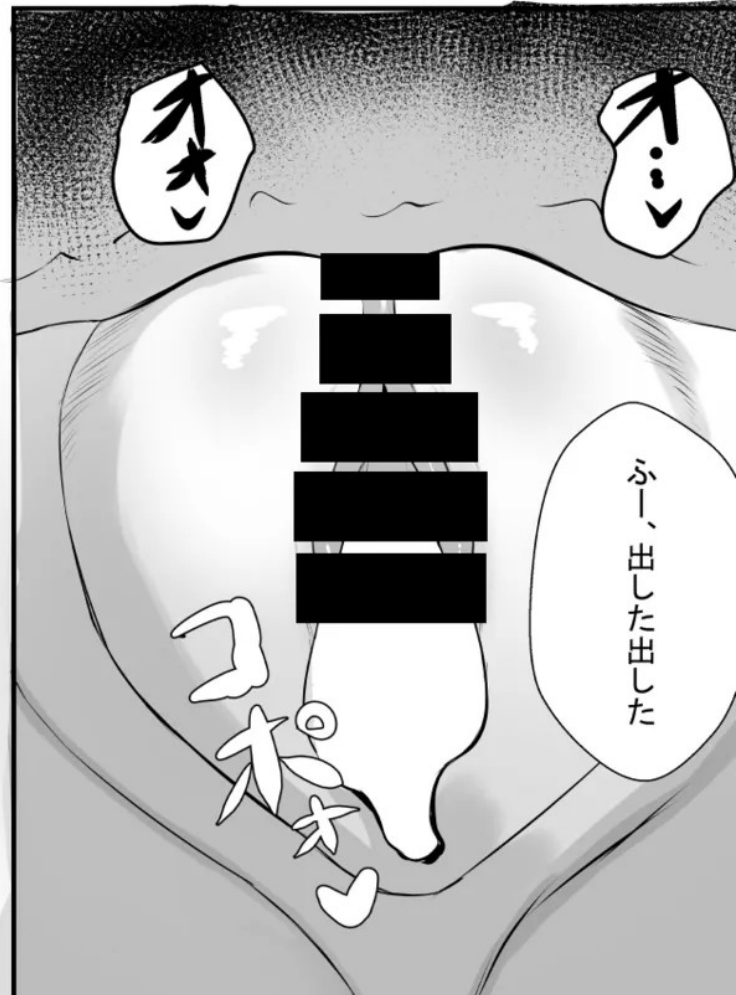
姫様は魔族になっちゃったじ

あゝあゝ

パ

ズバ

『私』ももっ...



さあ、勇者さま

お外には奴隷にしてあげた
人間どもがいっぱいですよ

彼らに魔族の女になった勇者さま
の艶姿を見せてあげましょうね♡

はい♡